

【表】学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)

②

名前 _____ (男・女) _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 年 _____ 組 _____ 提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 ※この生活管理指導表は、学校の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に医師が作成するものです。

病型・治療		学校生活上の留意点		★保護者 電話： _____	
アナフィラキシー (あり・なし)	A 食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載) 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	A 給食 1. 管理不要 2. 管理必要	緊急時連絡先 ★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____	★保護者 電話： _____	緊急時連絡先 ★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____
	B アナフィラキシー病型(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1. 食物 (原因) _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 () 5. 医薬品 () 6. その他 ()	B 食物・食材を扱う授業・活動 1. 管理不要 2. 管理必要 C 運動(体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 管理必要 D 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要			
	C 原因食物・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ《 》内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 《 》 【除去根拠】 該当するものを《 》内に記載 2. 牛乳・乳製品 《 》 ① 明らかな症状の既往 ② 食物経口負荷試験陽性 3. 小麦 《 》 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取 4. ソバ 《 》 () に具体的な食品名を記載 5. ピーナッツ 《 》 6. 甲殻類 《 》 () 7. 木の実類 《 》 () 8. 果物類 《 》 () 9. 魚類 《 》 () 10. 肉類 《 》 () 11. その他1 《 》 () 12. その他2 《 》 ()	E 原因食物を除去する場合により厳しい除去が必要なもの ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 鶏卵：卵殻カルシウム 牛乳：乳糖・乳清焼成カルシウム 小麦：醤油・酢・味噌 大豆：大豆油・醤油・味噌 ゴマ：ゴマ油 魚類：かつおだし・いりこだし・魚醤 肉類：エキス			
	D 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬(「エピペン®」) 3. その他 ()	F その他の配慮・管理事項(自由記述)			
食物アレルギー (あり・なし)			記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ ⑩		
			医療機関名 _____		
			医師名 _____ ⑩		
			医療機関名 _____		
気管支ぜん息 (あり・なし)	病型・治療	学校生活上の留意点	緊急時連絡先 ★保護者 電話： _____ ★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____	★保護者 電話： _____	緊急時連絡先 ★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____
	A 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良	A 運動(体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 管理必要			
	B-1 長期管理薬(吸入) _____ 薬剤名 _____ 投与量/日 _____ 1. ステロイド吸入薬 () () 2. ステロイド吸入薬/長時間作用性吸入ベータ刺激薬配合剤 () () 3. その他 () ()	B 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動 1. 管理不要 2. 管理必要 C 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要			
	B-2 長期管理薬(内服) _____ 薬剤名 _____ 1. ロイコトリエン受容体拮抗薬 () 2. その他 ()	D その他の配慮・管理事項(自由記述)			
気管支ぜん息 (あり・なし)	B-3 長期管理薬(注射) _____ 薬剤名 _____ 1. 生物学的製剤 ()		記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ ⑩		
	C 発作時の対応 _____ 薬剤名 _____ 投与量/日 _____ 1. ベータ刺激薬吸入 () () 2. ベータ刺激薬内服 () ()		医療機関名 _____		